

平成26年2月定例会 総務委員会（事前）

平成26年2月12日（水）

〔委員会の概要 政策創造部関係〕

藤田元治委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（13時50分）

これより、政策創造部関係の調査を行います。

この際、政策創造部関係の2月定例会提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【提出予定議案】（資料①②）

- 議案第1号 平成26年度徳島県一般会計予算
- 議案第3号 平成26年度徳島県市町村振興資金貸付金特別会計予算
- 議案第8号 平成26年度徳島県徳島ビル管理事業特別会計予算
- 議案第73号 関西広域連合規約の一部変更に関する協議について
- 議案第75号 平成25年度徳島県一般会計補正予算

【報告事項】

- 本四高速全国共通料金対応戦略について（資料③④）
- 徳島文理大学との包括連携協定の締結について（資料⑤）
- 次期e-とくしま推進プラン（案）について（資料⑥⑦）

妹尾政策創造部長

2月定例会に提出を予定いたしております政策創造部関係の案件について、御説明申し上げます。

お手元に、総務委員会説明資料を2種類、お配りさせていただいております。

まず、表紙に（その2）との記載がないほうによりまして、御説明させていただきます。

1ページをお開きください。

平成26年度政策創造部主要施策の概要についてでございます。

1の「いけるよ！徳島・行動計画」の推進では、県民一人一人が幸福を実感できるオンリーワン徳島の実現に向けまして、「いけるよ！徳島・行動計画」の着実な推進を図るとともに、現計画が平成26年度末で終了となりますことから、新たな計画の策定を進めてまいります。

2の真の分権型社会の実現と広域行政の着実な推進では、関西広域連合におきまして、本県が事務局を担う広域医療など、7分野の広域事務に取り組むとともに、地方分権改革を推進するため、市町村との総力体制のもと、広域行政を戦略的に展開することにより、地方が主導する真の分権型社会の実現を目指してまいります。

3の統計調査の実施と政策立案等に資する統計分析の推進では、行政施策の推進に必要な基礎資料を得るため、各種統計調査を実施するとともに、徳島県景気動向協議会の効果的な運営や統計分析を行い、各種政策立案への活用を図ってまいります。

また、統計大会等の開催を通じ、宝の山である統計データの利活用促進を図ってまいります。

4の中央省庁等への拠点機能の発揮では、中央省庁等との連絡・折衝や情報収集を行うとともに、徳島発の政策提言を国の施策として実現させるための拠点機能としての役割を發揮してまいります。

2ページをお開きください。

5の関西広域連合に対する拠点機能の発揮による広域行政の促進でございますが、関西広域連合との連絡調整や情報収集を行うことにより、関西広域連合を通じた本県施策の実現につなげるなど、拠点機能を發揮し、広域行政の促進を図ってまいります。

6の「県民“まなび拠点”」における生涯学習の推進及び高等教育機関との連携強化では、県立総合大学校「まなびーあ徳島」におきまして、県民ニーズを捉えた講座の充実、関係機関との連携により、県民の生涯学習を総合的に支援するとともに、大学等と連携し、調査研究活動や地域との交流の促進により地域課題の解決、地域の再生・活性化に取り組んでまいります。

7の市町村行財政の充実強化では、市町村が自主性や自立性などを發揮した行財政運営や行財政基盤の充実強化が行えるよう、積極的に助言等を行うとともに、地域が抱える緊急課題、新しいまちづくり等への取組を支援してまいります。

8の個性豊かな地域づくりの推進では、県と市町村などが連携し、移住・交流の促進を図るとともに、地域の個性を活かした魅力ある地域づくりを支援してまいります。

また、過疎対策事業の円滑な推進に努めるとともに、「とくしま集落再生プロジェクト」を推進してまいります。

9の地域情報化の推進では、「eーとくしま」の実現に向け、「eーとくしま推進プラン」を着実に推進し情報通信基盤の充実と、その利活用を推進するとともに、県と市町村とのシステム共同利用等により、事務の効率化・迅速化を図る電子自治体の構築を推進してまいります。

続きまして、3ページを御覧ください。

平成26年度一般会計・特別会計予算についてでございます。

政策創造部の平成26年度一般会計当初予算案の総額は、総括表一番下の計の欄、左から2列目に記載のとおり、56億6,629万7,000円で、前年度当初予算と比較し、27.9%の増となっております。

4ページをお開きください。

特別会計でございますが、総合政策課所管の徳島ビル管理事業特別会計、市町村課所管の市町村振興資金貸付金特別会計を合わせ、左から3列目の一番下、計の欄に記載のとおり、27億863万円を計上しており、前年度当初予算と比較し、2.2%の増となっております。

す。

次に、5ページを御覧ください。

課別の主要事項につきまして、御説明申し上げます。

まず、総合政策課でございますが、企画総務費の摘要欄②企画調整費のア、新規事業「とくしま魅力発信戦略事業」でございますが、徳島の魅力をより効果的にPRするための共通コンセプトの確立や、大都市圏に重点を置いたPRを展開するための経費として、3,000万円を計上いたしております。

また、イの新規事業、四国新幹線シンポジウム開催費では、四国新幹線の実現に向けまして、県民意識の高揚を図るため、新幹線など、新たな鉄道のあり方に関するシンポジウムを開催する経費として、300万円をお願いしております。

6ページをお開きください。

総合政策課の予算総額は、上段の表の一番下、合計の欄に記載のとおり、8億3,881万4,000円となっております。

その下の徳島ビル管理事業特別会計でございますが、記載のとおり、予算総額は1億3,259万3,000円となっております。

次に、下段の広域行政課でございますが、関西広域連合分賦金のほか、広域行政の推進に要する経費等を計上しており、予算総額は1億4,251万円となっております。

7ページを御覧ください。

統計戦略課でございます。

各種統計調査の実施に要する経費のほか、下段（目）県民経済基本調査費の摘要欄③加工統計調査費におきまして、宝の山である統計データを誰もが容易に利活用できるファイル形式に変換し、インターネットにより提供を行うオープンデータ化を推進するため、システムの整備及び利活用の促進を図る新規事業、オープンデータ推進事業に1,000万円を計上しており、統計戦略課の予算総額は4億405万1,000円となっております。

8ページをお開きください。

上段が、東京本部でございます。

東京本部の運営に要する経費等を計上しており、予算総額は1億9,946万5,000円となっております。

中段の大阪本部でございますが、大阪本部及び名古屋事務所の運営に要する経費等を計上しており、予算総額は1億9,211万8,000円となっております。

下段、県立総合大学校本部につきましては、摘要欄②企画調整費におきまして、大学等と連携し、県下全域を実証フィールドとした調査研究活動や地域との交流を促進することにより、地域の課題解決や地域の再生・活性化に取り組む新規事業、大学等地域連携強化事業に600万円を計上しており、予算総額は8,601万円となっております。

9ページを御覧ください。

地域振興総局でございます。

計画調査費の摘要欄②情報化促進費のオの新規事業、番号制度導入に向けた市町村シス

テムクラウド化事業につきましては、市町村における番号制度の着実な導入と事務の効率化、経費の節減を図るため、市町村システムのクラウド化を支援するもので、1,100万円をお願いしております。

10ページをお開きください。

（目）地域振興対策費の摘要欄①過疎等振興費では、民間事業者が実施する集落再生につながる取組を支援する進化する「とくしま集落再生プロジェクト」推進事業のほか、過疎地域等の振興を図る経費を計上しており、その下の（目）選挙管理委員会費以降は、選挙に係る事務経費等となっております。

以上、地域振興総局の予算総額は、10ページ最下段の合計欄に記載のとおり、38億332万9,000円となっております。

11ページを御覧ください。

市町村課所管の市町村振興資金貸付金特別会計でございます。

摘要欄①の市町村振興資金貸付金といたしまして、予算総額は25億7,603万7,000円となっております。

12ページをお開きください。

その他の議案といたしまして、1点、提出を予定いたしております。

関西広域連合規約の一部変更に関する協議についてでございますが、広域計画の改定によりまして、広域事務が拡充されることに伴う所要の改正を行うに当たり、地方自治法第291条の3第1項の規定に基づく連合規約の一部変更について、同法第291条の11の規定により議決をお願いするものであります。

続きまして、総務委員会説明資料（その2）をお願いいたします。

1ページをお開きください。

開会日に先議をお願いいたします、平成25年度一般会計補正予算についてでございます。

補正総額は、総括表一番下の計の欄、左から3列目に記載のとおり、3億円の増額をお願いするものでございまして、補正後の予算総額は、その右の欄のとおり、48億2,355万5,000円となっております。

2ページをお開きください。

課別主要事項でございますが、地域振興総局におきまして、計画調査費の摘要欄に記載のとおり、災害時における通信手段の確保を図るとともに、平時には、観光情報の提供や地域の魅力発信等に活用するため、全県的に公衆無線LANアクセスポイントの整備を行う新規事業、「Wi-Fi（ワイワイ）王国！とくしま整備事業」に3億円を計上いたしております。

なお、平成26年度当初予算では、今回、整備いたしますシステムを一体的に管理するための経費といたしまして、1,150万円をお願いしております。

3ページを御覧ください。

繰越明許費でございます。

このたびの補正額と同額の3億円の繰越をお願いするものでございます。

提出予定案件の説明は、以上でございます。

続きまして、この際、3点御報告申し上げます。

1点目は、本四高速全国共通料金対応戦略についてでございます。

お手元にお配りしております資料1を御覧ください。

まず、本四高速全国共通料金対応戦略「第3弾」の推進（案）についてでございます。

平成26年度から実現される本四高速への全国共通料金制度の導入を更なる県勢の発展・飛躍に結びつけるため、昨年6月に本四高速全国共通料金対応戦略の第1弾を、10月には第2弾を策定し、県を挙げて切れ目のない施策を展開しているところでございます。

いよいよ、この4月から共通料金制度の導入がスタートすることを踏まえ、このたび、平成26年度当初予算及び平成25年度2月補正予算の対策を盛り込み、更に充実した対応戦略第3弾（案）を取りまとめました。

資料に記載のとおり、第3弾では、左上、1)とくしま発信戦略において、「阿波おどり」と「すだちくん」との連携によるインパクトのある全国プロモーションの展開や、J1に初参戦の徳島ヴォルティス試合会場での魅力発信などを行うなど、「『すだちくん』活用とくしま発信事業」2つ下の3)観光交流戦略では、剣山国定公園指定50周年をはじめ、平成26年度の様々なトピックを活用した誘客施策を展開し、宿泊者数の大幅増加を目指す「いよいよ本番!!『おどる宝島!とくしま』キャンペーン事業」など、更に磨きをかけた150事業、総額193億9,719万7,000円の施策を盛り込んでおります。

次のページ以降は、各事業の概要を記載した個別表をお付けいたしております。

続きまして、資料2を御覧頂きたいと思っております。

こちらは、対応戦略第1弾及び第2弾の着実な進捗管理を図るため、各事業の1月末現在の進捗状況を整理させていただいております。

資料の表紙におきまして、7つの基本戦略ごとに、主な事業の取組成果を簡素に、また、次のページからは、個々の事業の進捗状況を記載いたしております。

2点目は、徳島文理大学との包括連携協定の締結についてでございます。

お手元の資料3を御覧ください。

県におきましては、高等教育機関との連携を推進しており、昨年9月の四国大学、11月の明治大学、徳島大学に続きまして、このたび、新たに徳島文理大学と包括連携協定の締結を行う運びとなりました。

この協定は、徳島県と徳島文理大学とが、それぞれ有する資源を結集し包括的な連携・協力を推進することによりまして、地域の人材育成、地域課題の解決及び地域の再生・活性化に取り組み、もって地域社会への貢献に寄与することを目的といたしております。

資料に記載のとおり、来る2月20日の締結を予定しており、今後、4の(1)地域の担い手となる人材の育成に関することをはじめ、9つの事項につきまして、連携・協力の取組を推進してまいりたいと考えております。

3点目は、「次期e-とくしま推進プラン（案）」についてでございます。

お手元の資料4を御覧ください。

「1 策定の趣旨」でございますが、「e-とくしま推進プラン」は、本県の地域情報化の方向性を示すことを目的に、外部有識者で組織する「e-とくしま推進会議」により策定された官民協働プランでございますが、現行プランが3月末をもって終了することから、このたび次年度以降の新たなプランを策定するものでございます。

「2 次期プランの特徴」といたしましては、現行プランでは、光ファイバー網などの情報通信基盤の整備に重点を置いて推進してきた結果、全国屈指のブロードバンド環境が実現したところでございますが、次期プランでは、急速な高齢化や、過疎化の進行など、本県が抱える様々な課題の解決に向けてICTを効果的・積極的に利活用するための指針を示すものとしております。

基本理念は、ICTを課題解決ツールとして効果的・積極的に利活用することにより、安全・安心で活力あふれる地域を創造する、といたしております。

「3 推進期間」は、平成26年度から平成30年度までの5年間でございます。

「4 プランの構成」でございますが、本県の目指すべき社会と、その実現に向けた方向性を示すビジョン編と、実施主体や実施内容などを具体的に示すプロジェクト編の構成となっております。

「5 推進体制」でございますが、「e-とくしま推進会議」がプランの方針を決定するとともに、毎年度、その達成状況を確認し、「e-とくしま推進財団」と県が連携いたしまして、プランの達成に寄与する取組の推進と進捗管理を行うことといたしております。

裏面の2ページ目には、プランの概要を体系にしたものを記載しております。

去る1月21日の「e-とくしま推進会議」におきまして、資料5のとおり、プランの（案）がとりまとめられ、現在、パブリックコメントを実施いたしているところでございます。

今後、県議会での御論議やパブリックコメントを経て、3月17日に開催予定の推進会議におきまして、「次期e-とくしま推進プラン」を取りまとめてまいりたいと考えております。

提出予定案件の説明及び報告事項は、以上でございます。

よろしく御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

藤田元治委員長

次に、関西広域連合議会議員の北島委員から、関西広域連合議会の活動状況について、報告を受けたいと思います。

【報告事項】

- 関西広域連合議会について（資料⑧）

北島委員

それでは、前回の報告以降に行われた関西広域連合議会の活動について、その概要を報

告いたします。

一つ目は、昨年12月14日に神戸市で開催されました第4回防災医療常任委員会についてであります。

まず、広域防災局長から、広域防災の取組や関西防災・減災プラン等について説明が行われました。これに対し、議員からは、風水害対策を考える上で森林の保全のあり方を検討すること、鳥インフルエンザ、口蹄疫に関する経済対策としての風評被害や人権侵害への対応にしっかり取り組むこと、などの意見が出されました。

二つ目は、本年1月11日に関西広域連合本部で開催されました第18回総務常任委員会についてであります。

まず、本部事務局から、次期広域計画原案の修正（案）や平成26年度主要事業について説明が行われました。これに対し、議員からは、広域産業振興において、関西ブランドを確立し、国内外から資金や人を呼び込むとあるが、日本全体で海外からの投資が少なく、法人実効税率が高いため、中央に要望してほしい、などの意見が出されたところでありませ

ず。三つ目は、2月8日に関西広域連合本部で開催された会議についてであります。本県は、大雪のため、高速道路が通行止めで、委員は出席できませんでした。当日開催されました会議につきましては、まず、第19回総務常任委員会が開催され、関西ワールドマスタースターズゲームズ2021、平成26年度当初予算及び平成25年度補正予算について、本部事務局から説明が行われました。次に、第4回広域行政システムのあり方検討部会が開催され、本部事務局から、「道州制のあり方について」、最終報告素案の説明が行われたと伺っております。

報告は以上であります。

藤田元治委員長

関連して、理事者において、説明または報告すべき事項があれば、これを受けたいと思います。

【報告事項】

- 関西広域連合委員会について

妹尾政策創造部長

関西広域連合委員会に関しまして、御報告をさせていただきます。

お手元にご配付の資料6を御覧ください。

11月定例会の閉会以降、昨年12月26日と、本年1月23日の2回、関西広域連合委員会が開催されましたので、その概要につきまして、主な協議事項を御説明させていただきます。

1ページをお開きください。

12月26日の第40回関西広域連合委員会での協議事項であります。

平成26年度主要事業予算についてでございます。

平成26年度の関西広域連合予算につきましては、昨年11月定例会の事前委員会におきまして、予算要求の途中段階での概要を御報告いたしました。その後、計数整理等を経て、この日の連合委員会において再度協議を行い、予算案を確定したところでございます。平成26年度当初予算総額は14億7,592万5,000円で、今年度当初予算に比べ、2億5,766万3,000円の増となっております。

他部局で計上するものも含め、本県の広域連合分賦金に係る平成26年度当初予算総額は1億4,541万5,000円となっており、今年度当初予算に比べ、401万1,000円の増となっております。

この平成26年度当初予算につきましては、広域連合議会総務常任委員会での御審議を経て、広域連合議会3月定例会に議案として提出される予定となっております。

なお、平成26年度主要事業の概要につきましては、5ページから21ページに記載が行いされております。

また、この日の連合委員会における、その他の協議事項につきましては、資料表紙に記載のとおりでございます。

次に、22ページをお開きください。

1月23日の第41回関西広域連合委員会での協議事項であります。

次期広域計画についてでございます。

昨年9月定例会の付託委員会において、次期広域計画中間案（原案）について御説明いたしました。その後、広域連合議会、パブリックコメント等の意見を踏まえ、最終案として取りまとめたところであります。

原案からの主な修正といたしまして、2020年に開催を決定した東京オリンピック・パラリンピックや、翌年の関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催に向けた事業展開を図るため、観光振興及び文化振興に係る取組の推進や戦略的な発信力の強化に努めるとともに、関西ワールドマスターズゲームズ2021及び関西版マスターズ大会への支援を関西広域連合の企画調整事務として行うことを合わせて追記し、また、広域連合の連携団体である奈良県、福井県、三重県の広域連合への加入の働きかけ方について、防災や観光など一部分野でも加入できるよう、全部加入、または一部加入に修正したことが主な内容となっております。この広域計画（案）につきましては、広域連合議会3月定例会に議案として上程され、御審議いただく予定となっております。

次に、40ページをお開きください。

関西広域連合規約の改正についてでございます。

広域計画の改定による広域事務の拡充に当たり、関西広域連合規約第4条第1項に掲げる事務のうち、文化振興、農林水産振興、広域環境保全について、新たに拡充する事務を規約に追加することを決定したところであり、追加する部分は、41ページに下線で表示しているとおりでございます。

最後に、49ページをお開きください。

平成25年度補正予算についてでございます。

ドクターヘリ事業に伴う事業費の増額とともに、事業執行見込みに基づき、経費の節減に伴う減額を行うことにより、補正額は874万4,000円の減額となっております。

平成25年度補正予算につきましても、平成26年度当初予算と合わせて、広域連合議会3月定例会に議案として提出される予定となっております。

なお、この日の連合委員会における、その他の協議事項につきましては、資料表紙に記載のとおりでございます。

関西広域連合委員会に関する報告は、以上でございます。

よろしくお願い申し上げます。

藤田元治委員長

以上で説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

森本委員

地域振興局の補正の分で、「W i - F i（ワイワイ）王国！とくしま整備事業」に3億円が計上されています。財政のほうから少しだけ話を聞きましたが、3億円というすごい額です。無線LANを整備するとのことですが、今現在、やっているところ、付いているところがたくさんありますが、どういう形で拡充を、どのくらいのスパンでするのですか。

窪集落再生室長

「W i - F i（ワイワイ）王国！とくしまの整備事業」について、御質問を頂いております。

この事業は、平成25年度の国の補正予算で盛り込まれております防災情報ステーション等整備事業を活用して、災害時の避難所、それから防災拠点になります庁舎などといったところで携帯電話の回線によらずにインターネットに接続することができる公衆無線LANのアクセスポイントを整備する事業でございます。委員のほうからございましたように、140施設程度のアクセスポイントの整備を考えてございますけれども、施設の規模や立地などによりまして、アクセスポイントやアンテナの数というのは複数の設置になろうかと考えております。避難所、庁舎等でございますので、屋内に設置するものがあったり、また、屋外に設置したりするものがあったりということで、今、計画をしているところでございます。

森本委員

電話回線が使えない場合でも自由にW i - F i がつながる。このことは非常に大切ですが、私は予算に驚いている。140か所増設するのに3億円。実際、これだけ掛かるのです

か。

窪集落再生室長

予算の規模についての御質問を頂きました。

今、申し上げましたアクセスポイントの設置に係る経費、それから、最低限のセキュリティを確保するといったことから、セキュリティの確保のシステムの構築といったものもございます。そういったものも含めまして、今回の予算を要求させていただいております。

森本委員

当然、見積りをしていると思いますが、本当に高いと感じます。業者を選定する時、どういう形をするのですか。

窪集落再生室長

今、委員からございましたように、関係の通信事業者などからシステムの概算でございますけれども、見積り等を頂いて、事業の積算をしているところでございます。事業者の選定、発注ということになるかと思うのですけれども、今、アクセスポイントの設置場所についての精査を進めているところでございまして、今後、事業の発注の仕方について、決定してまいりたいと考えているところでございます。

森本委員

今、安さの競い合いをいろいろなところがやっています。私は、そういう部分も含めて、きっちり見積りを行って発注してほしいと思います。140か所の無線LANで3億円というのは、相当膨大な値であると思う。お役所でないと、まずこんなことはできない。室内設置のものはそんなにしない。だから、相当な値であると思うわけで、3億円全額を使うこともないだろうし、お金が余ったら設置箇所も増やせばいい。これさえ整えておけば、家族間の連絡も付くし、非常に大事なものなので、早くしてもらいたいと思います。

そこで、e-とくしま推進プランとリンクはしないのですか。

矢間地域創造課長

Wi-Fiの関係とe-とくしま推進プランの関係でございますけれども、e-とくしま推進プランの中には、平成25年度から5年間の計画、それからプロジェクトを盛り込んでいく予定でございまして、Wi-Fiの整備につきましても、そのうちのひとつと考えております。

森本委員

よくわかりました。当然、そうなる。この紙だけを見たら、そういうことも書いてない

ので、全く別個のものみたいに思う。やはり、予算書を作る時は、当然、同じような流れのものなので、資料の中でちゃんとリンクするような形にすべきだと思います。要らないことですが、そのほうがわかりやすいので。

小川地域振興総局長

W i - F i の関係でございますけれども、私どもが整備しようとしているのは、最近、いろんな店舗や自宅などでW i - F i のルーターを置いて、気軽にW i - F i ができるといことであります。ただ、その場合には、現在、W i - F i ポイントが千数百箇所所有ののですが、ソフトバンク系、N T T ドコモといった通信事業者が決まったところには自分でできるのですけれども、違うところではできないとなっております。私どもが考えておりますのは、自分が加入しているところ以外のところでも自由にできるようなものでございますし、また、避難所などでするわけですが、屋内だけでなく屋外に、例えば、電柱みたいなものを立てて、そして避難所に集まってきた人が中に入らなくてもW i - F i ができるといったことも考えておまして、経費的には、一般的にW i - F i ルーターだけでしたら2万円や3万円できると思うのですけれども、それよりは比較的少し高額となっております。しかし、委員がおっしゃるように、国のほうからお金を頂くことでございますし、同じ金額でたくさんできたら、つながるものが大きくなってくると思いますので、委員から頂いた御意見等も踏まえながら、効果的に整備を進めていきたいと思っております。

森本委員

局長からのお話でよくわかりました。屋内ではなく、屋外の電柱なども立てられるということで、やっぱり数を増やしていただきたい。徳島県のどこでも携帯のW i - F i のマークが入ってくる。そういう状況にしていきたいと思っております。携帯の場合、ドコモでしたらL T Eというのがあって、W i - F i より何倍も速いし、ソフトバンクだったら4 Gになっている。これが災害の時にどうなるのかよくわからないのですけれども、やっぱりW i - F i をきっちり完備したら、災害時の本当にすごい連絡ツールになる。助かる命が助かるくらいに重要なツールなので、一日も早く完備していただきたい。徳島県はどこ行っても入ると。これを有名にしていきたいと思っております。

元木委員

それでは、私も関連して、W i - F i の関係で何点か聞きたいと思っております。

まず、この整備事業については国の事業ということでございますけれども、他県ではどの程度、手が上がっているのか。実際に進んでいる先進県はあるのか、また、県内市町村からも情報収集等されているのではないかと思いますけれども、県内市町村の反応というのはどういった状況でしょうか。

窪集落再生室長

元木委員のほうから、2点、御質問を頂いております。

まず1点目は、全国の実施状況についてでございます。この事業は、国の補正予算の事業でございますので、どのくらいあるのかというのは、ちょっと情報としてはない状況でございますけれども、例えば、観光都市である京都市といったところで、市内に公衆無線LANのスポットをたくさん設置をしている事例もあるところでございます。

それから、今回の設置に当たって、市長村の御意見をどのように捉えているのかとの御質問でございますけれども、今回の事業は、県の施設であったり、市町村の施設といったところへの設置でございます。事業の要件が避難所や防災拠点でございますので、そういったものをお示ししながら、個々について御相談をさせていただいている状況でございます。

元木委員

京都市など、観光に力を入れているところが頑張っているといった趣旨なのかなと思っております。この資料を見ておりましたが、例えば、観光情報の提供ですとか、本県の魅力発信などに活用できると、平時の活用方法についても述べていただいておりますけれども、基本的なことなのですが、こういった目的以外に使う方もいらっしゃるのではないかと。例えば、子供でしたら機器を持って行って、ゲームをずっとすることなど、県が想定している目的以外の用途に利用される方もいらっしゃるのではないかと推測します。そういった方が出ないようにするにはどのようにするのでしょうか。

窪集落再生室長

委員のほうから、公衆無線LANの活用、利用についての御質問を頂いております。

公衆無線LANについては、誰でも無料で接続できることが特徴でございますので、いろいろな活用、利用というのは場面としてあろうかと思えます。一方、規制すると、例えば、県外から来られた方がむしろ利用しづらくなったり、実際、災害時に使えなくなったりということもございますので、できるだけ利用しやすいような形で整備したいと考えております。

元木委員

こういったネット関係というのは、私も経験したことがあるのですがけれども、皆さんが一斉に使うと混雑したりして、通信速度が遅くなったりする。是非、そういったことがないように工夫を施していただきたいと思っておりますのでございます。そして、できましたら他県の様子なども見ながら進めていただきたい。多分、こういった分野は、整備が進めば進むほど単価が下がっていくのではないかと。先ほど2万円という言葉もございましたけれども、それに近づいていくのではないかとこの気もいたしておりますので、是非、慎重に進めていただきたい。

今の県の借金については、よく委員もおっしゃっているとおり、実質公債費率が全国ワースト2位の20.8%といった財政状況でございます。この1億5,000万円というのはかなり大きな額だと思います。是非、慎重に取り組んでいただきたいと思います。

また、このプランの中にも、今後、無線公衆LANの整備を促進していくということで明記していただいておりますけれども、今後の無線公衆LANに関して、こういった工程で何年をめどに、どの程度の箇所数を整備していかれるのか、お伺いしたいと思います。

さらに、それに合わせまして、毎年のWi-Fi事業の維持補修費、例えば、壊れた時の修理といった部分の経費も必要ではないかと思いますが、どの程度掛かるのか、お伺いいたします。

窪集落再生室長

今後のアクセスポイントの整備、設置等についての関係でございますけれども、アクセスポイントの設置については、フリーのスポットを設置する場合、回線の使用料、いわゆるインターネットの接続料が掛かってまいります。施設の設置者の方に御負担頂くこともございますので、いつまでに何か所といった目標はなかなか難しいですが、御理解賜るよう声を掛けてまいりたいと思います。

また、維持管理費についてですけれども、今、事業者のほうから見積りを聴取させていただきながら、できるだけ維持管理費が低減的な形のものを検討している状況でございます。

元木委員

是非、費用の分析等もしっかりとさせていただいて、何度も申し上げますけれども、最小の経費で最大の効果が上がるようなICT施策を本県発で進めていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、先ほど業者の話もございましたけれども、できるだけ地元業者、例えば地元の地域の電気工事組合といった地域の業界の方と連携して、地域の方が仕事をしっかりと取って、雇用創出、経済再生につながるような工夫も要望させていただきたいと思います。

そして、ICTのプランの中で、ICT人材育成の項目で記載されておまして、例えば、小中学生や高校生を対象にデジタルコンテンツの作成や活動のプログラミング技術の習得を目的としたICT人材の育成を図るとか、大学との連携、ICT関連企業の育成といった人材育成についても記載していただいております。先日、私はシンガポールに行っておりますと、シンガポールはイギリス領ということもあって、かなりICTが進んでいまして、今、イギリスのほうでも中学校の学校教育にICTを必修化して導入しようではないかといった話の中で、やはり企業も行政も同じだと思いますけれども、ICTを学ぶ方ですとか、実際に使って仕事をされている方を支援する人自体を育成しなければ、実際、業者任せで、大手業者の言われたままになってしまうことも起こるのではないかと心配しております。その中で、今後、こういったデジタルコンテンツの作成ですとか、プログラ

ミング技術の習得をしっかりと啓発，普及していただけるような支援員といった人材をどのようにして育成していかれるのか，もしお考えがあればお願いします。

矢間地域創造課長

今回のプランにつきましては，先頃，国のほうで出しております世界最先端 I T 国家創造宣言の中の3本柱に加え，人材育成ということ盛り込ませていただいているところでございます。そして，徳島県のほうで目指しております人材育成というところではございますが，こちらはリテラシーが高く，実践的な I C T 人材を育む社会ということで位置付けさせていただいているところでございます。その中で，具体的なところとなりますと，このあとのプロジェクト編といったところに直接盛り込ませていただきますが，例えば，教育環境というところで見ますと，I C T を活用したわかりやすい授業でありますとか，社会の情報化進展に対応した情報モラル教育であるといったところ，それから学校におけます I C T 機器の利活用を進めるデジタル教材等を活用した生徒の能力や特性，理解度に応じた個別対応が可能なきめ細やかな授業の展開等々を書かせていただく予定であります。

そして，先ほどの企業への支援でございますけれども，当課のほうで実施しておりますところといたしましては，I C T とくしまプロジェクト推進事業ということで，県内の優秀なデジタルコンテンツクリエイターの発掘を目的としまして，例えば，I C T とくしま大賞などを設けてまして，そういった優秀な人材の発掘等に努めているところでございます。

また，そういった I C T とくしま大賞などを通じて，一定の審査を通過したクリエイターの作品といった所属事務所等をリスト化したしまして，県のホームページに掲載したり，関係団体企業への周知をしたりということで，仕事と人材のマッチングを図るといったクリエイターバンクなども創設させていただきたいと考えているところでございます。

元木委員

I C T とくしま大賞やデータバンクの取組を進めていただけるということでございます。

長期的な視点での人材育成を主観において，このプランを策定していただきたいと思えますし，実際のプランも進めていただきたいと思っております。私の地元でも小学生がランドセルの中に i P o d を入れて通っているわけでございます。そういった子供が大人になって，社会人として実際に県庁や企業で働くようになったら，徳島県あるいは日本全体の雇用関係等がかなり変わってくるのではないかと感じているところでございます。

先日，報道を見ておりますと，スマートフォンのアプリケーションを新しく開発して，かなり有名になった小学生がいらっしゃいました。これからはそういう時代になっていきますので，少しでも多くの方が今の時代に対応した基本的な知識を身に付けていただけるよう，是非，そういった方を支援する人材を育成していただきたいと思っております。今，科学技術高校などが電気課程の中でコンピュータープログラミング教育というのをされていますが，本当に特定の分野に進む一部の方だけの学問であるということでもあります。多

分、これからはもっと薄く広く、基本的なプログラミングの知識を知っておかないと、仕事ができない時代になるのではないかと考えているところでございます。

今回のICTの一連のe県庁等の予算を見ておりましたが、ほとんどが人件費でございます。その人件費の単価も他の公共事業ですとか、公共建築の建築屋といった方と比べると、かなり金額も高いと感じております。これを下げていくためには、県庁職員も知識をしっかりと習得するべきであろうと思いますし、県庁全体のICTのレベルも上げていき、それに伴って周辺の企業もICT化が進んでいくのではないかと考えております。

今後、県として効果的にICT施策が進むよう、是非、全庁一丸となって取り組んでいただきたいということを要望させていただきまして、終わります。

喜多委員

付いていけない面ばかりですけれども、このWi-Fi王国、括弧してワイワイと書いてありますが、これはどういう意味で、どういう狙いがあるのですか。

窪集落再生室長

喜多委員のほうから、事業名にWi-Fi、括弧してワイワイと書いてあるということで、その意図するところについて、御質問を頂いたところでございます。

この事業自身は、災害時は携帯電話の回線が混雑してつながりにくくなるということがございますので、携帯電話の回線を経由せずにスマートフォンやタブレット端末からインターネットにつながることができる公衆無線LANを災害時の避難所や防災拠点に整備するというところでございます。災害時に避難してくる住民の方が、アクセスポイントからインターネットにアクセスすることができますが、災害時の利用だけではなく、もちろん普段も利用することが重要でございます。例えば、観光情報やスポーツの情報の提供といった徳島の魅力を発信していくことが活用の上では重要かと思っております。そういった思いから、にぎわえるようなということで、括弧の中にワイワイと入れさせていただいた次第でございますので、よろしく願いいたします。

喜多委員

もう一つ、王国というのはどういう意味ですか。

窪集落再生室長

徳島県は、光のブロードバンド環境が県内に設置されているということでございます。

そういう環境を生かして、先ほどの森本委員、元木委員からもございましたように、どこに行っても光回線でインターネットにつながる環境が整備できるようにということで、Wi-Fi（ワイワイ）王国といった名称を上げさせていただいているところでございます。

喜多委員

余りわかりません。そして、既に京都市では実施され、50店舗くらいで設置との説明がありました。30億円の費用対効果というか、どれだけの効果があるのか。木南委員に聞いたら、今現在、使えるところは使え、使えないところは全然使えないといった話がありましたけれども、例えば、今は1万人しか使えないが、3億円を投入したら県民のほとんどが使えるといった、3億円でもこれだけの値打ちがあるといった説明はありますか。

窪集落再生室長

今、委員のほうから、京都市の取組についての御質問を頂いておりますが、京都市の特徴というのは、観光客も多く来られるということで、通信事業者が自ら設置してもメリットがあるので、事業者が中心になって設置されている状況でございます。3億円の事業費でもって県内のアクセスポイントの整備ということでございます。通信事業者が県内にたくさんアクセスポイントを整備されているわけですけれども、通信事業者と契約されている方が接続できるといったものに限定されるところでございますので、今回整備しようとしておりますのは、どの通信会社、携帯会社と契約しているかによらず、どなたでも無料で、それも上限なしで利用できるといった類のスポットを整備しようと考えておまして、今、県内にフリーのスポットが100か所程度ございますけれども、それを増やしていくことを考えております。

喜多委員

結局、私にとってはわからないことばかりですけれども、もうちょっと時代が進んで、例えば、1年後、5年後、10年後になってきたら、開かれた業者というか、通信事業者も開かれてきて、もっとオープンで誰もが使えるような基地にはならないのでしょうか。3億円投資して、5年後にそれが無駄なものになってしまう可能性もあるのではないかと思います。今の時点では大賛成ですし、意見はないのですけれども、これだけ日進月歩で進んでいるので、5年先、もっと言えば10年先には全然使えなくなる可能性もあると思います。市内の5年先、10年先の見通しはどうか。

窪集落再生室長

喜多委員からお話ございましたように、通信技術の進歩というのは本当に目覚ましいものがございます。今から10年前に戻った時に今の状況というのはなかなか予想しえなかったかと思うのですけれども、これは全国競争のところもあろうかと思います。今、ちょうど国の事業が利用できるということで、できるだけ早く、遅れることなしに環境の整備を図ることによって、徳島県の魅力発信といったところにもつなげてまいりたいと考えております。

喜多委員

140か所の設置について、何年くらいでできるというか、使えるようになるのですか。

窪集落再生室長

委員のほうから、事業のスケジュールについての御質問を頂きました。

この事業につきましては、繰越をさせていただくようお願いいたしております。平成26年度において、アクセスポイントの整備を図っていくことになろうかと考えてございます。

小川地域振興総局長

費用対効果のこと、また、5年後、10年後はどうなるのかということもおっしゃっていました。例えば、大地震が来て携帯が使えなくなった時、一番有効に使えたのはインターネットという過去の例もあります。ただ、そういう場合、費用対効果でどう見るのかというのは、これは見えないと思います。そういった時に御家族の方が自分の家族はどうなっているのかということインターネットの情報を通じて気付けば、その人にとったら、その情報は何億円のものにもなると考えております。ただ、そういう意味も込めまして、普段、観光に使わなければ、やはりいざという時には使えないということで、その効果も出すわけですけれども、大きく中心となるのは、災害の時に皆がどのような情報を取れるのかということで、今、徳島県が高速インターネットの光の線がつながっているという利点を生かしまして、この事業を国のほうに採択していただきました。皆さんの安全・安心を買うためのお金だと思っていただけたらありがたいと思います。

喜多委員

どこの場所で140か所の整備を想定しているのですか。

窪集落再生室長

設置の場所でございますけれども、この事業の対象になりますのが避難所、これは屋内の避難所も屋外の避難所もございます。それから、防災拠点になるような庁舎ということでございます。設置後の維持については、それぞれの施設管理者のほうにお願いするといったこともございますので、今、その設置場所について、精査を進めているところでございます。

喜多委員

例えば、200か所選んで、その中から140か所くらいに振り分けていくとか、今、全然想定もしてないとか、どのような状態ですか。

窪集落再生室長

設置の場所につきましては、それぞれ施設管理者の御意見、御要望等も聞きながら、今、

精査を進めているところでございます。

喜多委員

例えば、避難所を含め、役場や学校などのようなところを想定しているのですか。

窪集落再生室長

今、委員のほうから、再度、設置場所についてのお尋ねを頂きました。

今回、設置の対象になる場所について、国のほうから要綱上で示されてございます。今、委員がおっしゃられたように、地域防災計画の中で指定をされる避難所、それから防災拠点となるような庁舎、県や市町村の庁舎といったところに規定されてございますので、そこを対象にと考えております。

喜多委員

補助率は2分の1ですか。

窪集落再生室長

国の事業の補助率でございますけれども、2分の1以内と示されてございます。

喜多委員

他の委員とも重複するのですが、日進月歩進む状況の中で、全国の状況も見ながら、1億5,000万円が有効に使えることができるように強く要望しておきたいと思っております。

また、去年度に引き続き、特別会計の市町村振興資金貸付金については、予算の増額がなされています。多分、去年も一昨年と同じ額だったのではないかと思いますけれども、その実績はどのようになっているのでしょうか。

延市町村課長

市町村振興資金貸付金についての御質問でございます。

今、委員からお話ございましたように、貸付枠については、昨年度に引き続いて23億円を確保しております。実績ということで、貸付実績でよろしいかと思っておりますが、直近のここ10年ほどを見ても、市町村の事業でございますので、当然、毎年増減がございます。8億円余りから、多い時では21億円程度まで、かなり幅を持った形で、直近の平成24年度で申しますと、9億3,000万円程度の貸付実績がございます。

喜多委員

枠を切らないのであれば、20億円で決めるのではないかと思うのですが、23億円というのは何か意味があるのですか。

延市町村課長

貸付枠の考え方について、23億円の3億円に特に大きな意味があるかということでございますが、当資金につきましては、資金の考え方といたしまして、国の地方債制度を保管する資金として制度を持っているものでございますが、当然、国の地方債の資金枠がございますので、そのために市町村の御要望にお応えできない場合がありますとか、あるいは国の制度が対象にしてない施設を対象にするといった形で市町村を支援しております。一方、もう一つの観点といたしまして、市町村がいろいろな建設事業、あるいは災害系、突発的に資金需要が生じた場合、独自に市町村は資金を調達することができませんので、そういったものにもお応えをするということで、いわゆる資金調達のセーフティーネットとしての役割を担っている資金でございます。その関係で、やはりある一定規模を用意しておく必要があるのではないかということで、平成21年度からは23億円同額ということで、市町村に対しましても、しっかり用意できていますといったアナウンスをしていく必要もございますので、同額で計上させていただいているところでございます。

黒崎委員

実は、3点質問しようと思っていたのですが、時間も押してきておりますので、1点だけ要望させていただきたいと思えます。

1月末に徳島ヴォルティスが1部に上がったことについて、サガン鳥栖の調査のために佐賀県に行っていました。そうしましたら、ふるさと納税の中でサガン鳥栖の施策に対し、何か別枠でお考えになっていたようでございまして、その成果も出てきたといった話も聞きました。今、ふるさと納税についてはどうなっていますか。まず、直近の金額からお伺いしたいと思います。

相田総合政策課長

ただいま、ふるさと納税についての御質問を頂きました。

ふるさと納税につきましては、本県にゆかりのある県外在住の方々を中心にいたしまして、積極的なPRに努めているところでございます。ふるさと徳島を応援したいという方々からの貴重な御寄附を頂いているということでございます。直近の寄附といたしましては、平成24年度の実績になりますけれども、寄附の件数が174件、金額では5,465万7,000円の御寄附を頂いている状況でございます。

黒崎委員

約5,460万円あるということで、要望として聞いていただきたいと思いますのですが、佐賀県の場合、ふるさと納税でできるものをまとめたパンフレットがありまして、その裏側に納税なさる方々に対し、この県の施策からお選びくださいということで、選べるようになっております。その中に、サガン鳥栖支援施策に御活用ください、といった欄もございまして、それにも使えることになっております。こういった施策別に納税者の希望を聞くと

いうことについては、なかなか手間の掛かったりすることもあるかもしれません。ましてや徳島ヴォルティスという一企業に対してそういったことができるのか、できないのか、といったこともあるかと思えます。実際、サガン鳥栖の寄附についても、事前にいろいろな議論があったと聞いております。真の意味でビッグチャンスを県政発展につなげていくため、挙県一致による対応戦略を行いたいとのことでございますので、是非とも参考にし、一考していただきたいと考えているのですが、いかがでございましょうか。

相田総合政策課長

徳島ヴォルティスの支援に対し、ふるさと納税を活用してはどうかという御質問でございます。

徳島県のふるさと納税の寄附の受入れの方法につきまして、今現状といたしましては、大きく7つのメニューという形で示させていただいております。具体的には、豊かな自然を守り継承する事業、文化・スポーツを振興発展させる事業、産業振興、人材の育成、地域の活性化、それから災害予防と暮らしの安全といった6つのメニュー、また、知事のお任せメニューということで、大きく7つのメニューを設けて、その中で頂いている状況でございます。頂いた寄附金につきましては、毎年1月から12月まで、頂きました寄附金を翌年の当初予算におきまして、それぞれ7つのメニューに該当する事業に充当させていただいている状況でございます。

委員からお話がございましたように、佐賀県のほうでは、地元Jリーグチームのサガン鳥栖がJ1に昇格したということのを契機に、平成24年にふるさと納税の使い道のメニューにサガン鳥栖を追加したと聞いております。県といたしましても、今回、徳島ヴォルティスのJ1参戦を盛り上げていき、地域の活性化にもしっかりとつなげていこうということで、県の今回予算案におきましても、商工労働部の予算に徳島ヴォルティスのJ1の昇格、おもてなしの対策ということで、県外サポーターの観光客の誘客対策、それから周辺の渋滞緩和といった対策を盛り込んでいるということでございます。

今、委員から御提案のふるさと納税を活用した徳島ヴォルティスへの支援ということでございますが、ふるさと納税の制度につきましては、ふるさとを応援したい、それから徳島の力になりたい方々のお気持ちを形にできる制度でございます。県民の皆様、特に、県外に在住の皆様から、徳島ヴォルティスを応援したいという思いを一つの形に表す方法としましては、有効な支援の形ではないかと考えております。今後、佐賀県の状況につきましてもお伺いさせていただく中で、関係部局であります商工労働部、それから財政当局などとも協議をさせていただきまして、どのような形で取り組んでいくのがいいのか、その仕組みや課題といったこともございますので、その点についてもよく調べさせていただきまして、検討させていただきたいと思っております。

黒崎委員

是非、よろしく願いいたします。真の意味で、おもてなし協議会というのもできまし

た。挙県一致で、このチャンスを生かしていただきたいと思います。サガン鳥栖も、1部に上がる前までは最高7,000人程度のサポーターしかいませんでした。2万人くらい入る大きな競技場ですが、7,000人くらいしか入っていませんでした。それが一挙に1万6,000人くらいといった数字になって、今、2万人を目標にしているところでございます。2年目で5位、3年目で14位ですか。頑張っただけで1部に残っていることによって、佐賀県全体、特に鳥栖市周辺の活性化に大きくつながっていると伺っております。是非、挙県一致でお願いを申し上げまして、質問を終わります。

岡田副委員長

先ほど来、Wi-Fi設置の話が出ています。Wi-Fi設置で十分活用していただけたらいいと思うのですが、それに伴って発信する情報源を一元化する件について、質問させていただきます。実は、先日の大雪の中、私は会津若松のほうに行っておりまして、飛行場で3時間ほど待たされました。欠航かどうか決まっていなかったから来てくださると、JALのサイトにあったので、それを見て飛行場に行きました。新幹線やモノレールは普通に走っていらしたので、飛行機で遅れ分だけ会津に着く時間が遅れ、3時の予定が6時になって到着しました。帰りも大雪だったのですが、家に電話すると、四国は大丈夫という話だったので、そのまま帰ろうとしたのですけれども、私たちの乗る便が欠航したということが飛行場に行ってわかりました。

何を言いたいかと申しますと、先ほど、黒崎委員がおっしゃっていましたが、J1といえますのは、34試合のうち、アウェーとホームの1回ずつしかない。18チームあるのですが、対戦相手となる17チームのサポーターというのは、徳島県に1回しか来ない。あとの半分は徳島の人たちが応援に行く。そうすると、今、何万人という客を想定していますが、その人たちはリピーターではなく、初めて徳島県に来て、試合を見る方であると考えられます。そこで、そういったお客さんをどうおもてなしするかということを考えてほしいと思います。

もう一つ、サッカーは天候に関係なく、雨であろうが、大雪であろうが、真夏の暑い時期であろうが、試合が組まれている限り、試合が行われます。雷が鳴っていない限り、試合があります。先日のように、雪が降り始め、競技場が真っ白になった時、試合後、応援に来たサポーターの皆さんは帰らないといけないのですが、橋が通行止め、JRも止まっている。そういった時、いろいろな交通情報を一括化して掲示できるサイトがあれば、徳島県のJ1サポーターの皆さんへの一番のおもてなしになるのではないかと思います。そういった取組体制についてはどうなっているのですか。

矢間地域創造課長

ただいま、岡田委員のほうから、本県の情報一元化、情報発信の仕方について、御質問を頂きました。

今、e-とくしま推進財団のほうで県民が必要とする情報をワンストップで入手するこ

とができますように、徳島のイベントや暮らしの情報を発信する県民ポータルサイト、とくしまポータルといったものを開設し、運用しているところでございます。このとくしまポータルにおきましては、現在、情報を発信する団体が公共施設や学校、自治体、医療機関、経済団体等ですけれども、こちらの団体が約800団体、それから登録情報数というのは、常時、約2,000から3,000件を越えておりまして、平成24年8月1日の運用開始後、わずか1年半で、グーグルとヤフーのキーワード検索で、徳島イベントと入れていただきますと、検索順位1位と出てくるところでございます。そして、このとくしまポータルの情報の中には、もちろん安全・安心や健康医療、それから交通といった情報もございまして、ただいま委員のほうがおっしゃいました、例えば、阿波おどり空港の運行の状況でありますとか、バスの運行状況といったものも情報発信しているところでございます。

また、徳島ヴォルティスにつきましても、こうしたとくしまポータルにおきまして情報を発信していきまして、利用される方がすぐに交通情報などがわかるように載せてまいりたいと考えております。利便性の高いポータルサイトとなるように、今も何かと努力しているところでございますので、生活情報をはじめとしました県民、あるいはサポーターの方々が必要とする情報をワンストップで入手できる環境の充実に努めてまいりたいと考えております。

岡田副委員長

かなり偏ったサイトなのか、私は、とくしまポータルサイトというのを聞くまで知りませんでした。徳島イベントというキーワードで検索でき、グーグルやヤフーの検索サイトで1位というお話だったのですが、そのキーワードを知らなければ何度も検索しなければならないので、その部分のPRを県のホームページでもっとしていただきたい。

多分、3月8日は一番多くの人があるであろうと予想され、もう既にチケットも完売している状況です。よりきめ細かな徳島ヴォルティスの情報やアクセス方法といったものを、どんな方でも迷子にならず、難なく行けるように、今のリンクに検索サイトを張り付けていただきたい。Wi-Fi環境が整っていれば、皆さんは簡単につながると思いますので、情報の発信力の充実を図っていただきたいと思います。

矢間地域創造課長

ただいまの委員がおっしゃったことにつきましては、e-とくしま推進財団とも協力しながら努めてまいりたいと思っております。

小川地域振興総局長

今、岡田副委員長から、とくしまポータルというものがあるのですけれども、徳島県民でもなかなか見たことがないとのことでありました。例えば、県外からお越しいただいた方がそれを見て、正確な情報を把握できるかといえ、甚だ何とも言い難いと思っております。

徳島県のホームページ所管しております秘書課や関係部局とも連携を取りながら、やはりe-とくしま推進プランの中の理念で掲げておりますように、今まではハード整備を一生懸命してきたのですが、これからはICTを課題解決ツールとして効果的、積極的に活用することが私どもに求められていると思いますので、いろんな情報にリンクするように努力したいと思っております。

岡田副委員長

徳島県のことを大好きになって、何度も来ていただくような観光客の誘客につながるよう、是非、お願いしたいと思えます。

藤田元治委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、政策創造部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（15時13分）